

第125回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成23年第1四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成22年12月27日～平成23年3月27日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は243件（前回報告303件、前年同時期227件）で、過去16位
そのうち男性226件、女性17件で、男性は前回（295件）より減少、前年同時期（207件）より増加、女性は前回（8件）より増加、前年同時期（20件）より減少
3. 新規AIDS患者報告数は117件（前回報告119件、前年同時期94件）で、過去6位
そのうち男性107件、女性10件で、男性は前回（116件）より減少、前年同時期（91件）より増加、女性は前回（3件）及び前年同時期（3件）より増加
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は360件で過去12位

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが166件（全HIV感染者報告数の約68%）
そのうち160件が日本国籍男性
 - 異性間性的接触によるものが41件（全HIV感染者報告数の約17%）
そのうち男性30件、女性11件
 - 静注薬物によるものは1件
 - 年齢別では、特に20～30代が多い
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが68件（全AIDS患者報告数の約58%）
 - 異性間性的接触によるものが25件（全AIDS患者報告数の約21%）
そのうち男性19件、女性6件
 - 静注薬物によるものが1件
 - 年齢別では、特に30代以上に多い

【検査・相談件数の概況（平成23年1月～3月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は24,475件（前回報告27,211件、前年同時期23,789件）、自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は6,680件（前回報告7,511件、前年同時期6,162件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は39,094件（前回報告42,030件、前年同時期38,650件）
抗体検査件数及び相談件数は前回報告に比べ減少、前年同時期に比べ増加した

【献血の概況（平成23年1月～3月）】

1. 献血件数（速報値）は1,327,109件（前年速報値1,316,019件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は29件（前年速報値14件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は2.185件（前年速報値1.064件）

《まとめ》

1. HIV感染者、エイズ患者ともに、前回報告件数と比較して減少した。
2. HIV抗体検査件数及び相談件数は一年のうちでピークになる第4四半期より減少したが、前年同時期より増加している。
3. HIV抗体検査・相談件数及びエイズ動向に対する震災の影響については、今後の経過を注視する必要がある。
4. 献血血液におけるHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）が増加している。
5. 早期発見は、個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。